

第2回廃棄物・リサイクル部会における委員意見に関する事務局の考え方

【事業系ごみ対策】

委員意見	事務局の考え方
事業系一般廃棄物については、排出事業者の処理の実態や処理業者の受託の実態が不明であり、データの整備を含め十分に対策がなされていないと思われるので、今後県で調査を行い、その上で削減方策を立案し、次回の計画には反映させていただきたい。【瀧委員】	市町村の協力のもと、処理の実態、受託の実態の把握に努めます。

【容器包装リサイクル法】

委員意見	事務局の考え方
容器包装リサイクルは、収集、選別、保管等、市町村の費用負担が大きいとのことだが、容器包装リサイクル法では、自治体のリサイクル費用は生産者が負担することとなっているはずであり、その財源はどこに行っているのか調べておいていただきたい。【ふじしろ委員】	生産者等の特定事業者が負担している費用は、(公財)日本容器包装リサイクル協会を通して再商品化業者に支払われています。その一部は、合理化拠出金として市町村にも支払われていますが、市町村が実施する収集運搬等に必要な経費を賄うには不十分であり、大部分は市町村が負担しているのが実態です。

【放射性物質を含む廃棄物への対応】

委員意見	事務局の考え方
国が8,000ベクレル以下は安全に処理できるとして処理を進めることについては問題だと思う。【ふじしろ委員】	放射性物質濃度が8,000ベクレル以下の一般廃棄物については、放射性物質汚染対処特措法により、一定の処理基準に則って管理型最終処分場で安全に処理できるとされています。

【再生土の適正利用の推進】

委員意見	事務局の考え方
再生土が何なのか、明確にした方がよいと思う。【杉田委員】	建設汚泥の中間処理後物であることを明記します。

【優良リサイクル製品の認定制度】

委員意見	事務局の考え方
優良リサイクル製品の認定制度について、仕組みづくりについては早急に始めてもらいたい。【井上委員】	仕組みづくりの検討については早期に着手し、計画期間内での導入を目指します。

【公的関与】

委員意見	事務局の考え方
産業廃棄物最終処分場の公的関与の可能性の検討について、PDCAを回す中で、検討をより具現化していただきたい。【河井委員】	平成25年度、26年度に実施した他都道府県における公的関与処分場の設置・運営状況に関する調査結果を踏まえて、公的関与の可能性について検討していきます。

【進行管理】

委員意見	事務局の考え方
計画の進行管理にあたっては、3段階評価など、住民が見て、一目でわかるような公表の仕方を考えていただきたい。【香村委員】	県民にわかりやすい評価方法と公表の仕方を検討します。